

分かち合いの手引き

メッセージ ～イエス・キリストの生涯⑮～『結婚の神聖性』
聖書箇所 新約聖書 マタイの福音 5章 27～32節

ここでは「対立命題」と呼ばれる六つの事柄が取り扱われており、今回は「姦淫」と「離婚」というテーマを取り上げます。前回のテーマは「殺人」についてで、他者との関係の完全な破壊として捉えられていました。それは罪の力がもたらすもので、怒りや憎しみから始まります。一方、福音は罪によって傷ついた関係を修復します。イエス様は、人と人との関係を破壊する力に対して断固たる態度をとるように励ましておられます。今回のテーマも、関係性の視点から取り扱われています。

1. 結婚とは何か

クリスチャンは結婚を神聖なものと考えます。神聖とは神様の領域に属するということであり、結婚は神様から出たもの、神様の召しであるということです。それゆえクリスチャンは神様の前で結婚式をします。神様が合わせた男女であるという確信があります。結婚に愛は不可欠ですが、それ以上に神聖なものです。ところが、その神聖な関係を破壊しようとする様々な脅威があります。

【設問】世の中の結婚観とクリスチャンの結婚観の違いは何ですか。

2. 姦淫について

これは十戒の第七番目の戒めです。殺人の場合と同様に、イエス様は心の中での姦淫について指摘しておられます。但し、これは自然に生じる性的衝動に対してではなく、違法な関係に対する欲望を故意に抱くことを禁じています。つまり、浮気や不倫につながる思いや欲望に引っ張られることを指します。なぜならそれは、聖なるものとされている結婚関係の破壊につながるからです。目や手の切除は誇張表現であり、実際にそれを行ったとしても問題が解決することはありません。しかしそれほど姦淫の罪が深刻なものとしてイエス様の目に映っているのです。それは不誠実、裏切りであり、夫婦関係を修復不可能なものにします。姦淫の現場で捕らえられた女性がイエス様のもとに連れて来られた時、彼女の罪を唯一裁くことのできるお方は彼女を赦されました（ヨハネ8章）。宗教指導者たちはイエス様のもとから離れていきましたが、この罪深い女性は留まりました。これが根本的に重要なことです。主の教えはしばしば厳しく聞こえます。主は私たちを断罪しようとしておられるのではなく、私たちの人生や大切な人々との関係を破壊する罪の力に対抗するように励ましておられるのです。

【設問】ここで問題とされている姦淫の罪にどう対応していますか。

3. 離婚について

ここで挙げられている規定（申命記24:1）は、立場が弱かった女性たち（妻たち）を夫の横暴から守るためにありました。しかしそのみことばが人間の都合のよいように解釈されていたので、イエス様はここで夫たちの身勝手な行動に異を唱えておられるのです。不貞の罪は聖なる関係を汚すもので、その場合は離婚が許容されています。それほど夫婦の結び付きは強いということです。結婚は祝福ですが、一方で深く傷つく人たちもいます。人生はうまくいかないことも多いのです。しかし重要なことは何があっても主から離れないこと、痛みや失敗や挫折を経験しても、なお主に従い続けることです。

【設問】結婚関係で悩む人たちのためにあなたは何かができますか。

関連する聖書のみことば

〔新約聖書／マタイの福音書〕

- 5:27 『姦淫してはならない』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。
5:28 しかし、わたしはあなたがたに言います。情欲を抱いて女を見る者はだれでも、心の中ですでに姦淫を犯したのです。
5:29 もし右の目があなたをつまづかせるなら、えぐり出して捨てなさい。からだの一部を失っても、全身がゲヘナに投げ込まれないほうがよいのです。
5:30 もし右の手があなたをつまづかせるなら、切って捨てなさい。からだの一部を失っても、全身がゲヘナに落ちないほうがよいのです。
5:31 また『妻を離縁する者は離縁状を与えよ』と言われていました。
5:32 しかし、わたしはあなたがたに言います。だれでも、淫らな行い以外の理由で自分の妻を離縁する者は、妻に姦淫を犯させることになります。また、離縁された女と結婚すれば、姦淫を犯すことになるのです。

〔新約聖書／ヨハネの手紙第一〕

- 2:16 すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢は、御父から出るものではなく、世から出るものだからです。

〔新約聖書／ヨハネの福音書〕

- 8:4 イエスに言った。「先生、この女は姦淫の現場で捕らえられました。
8:5 モーセは律法の中で、こういう女を石打ちにするよう私たちに命じています。あなたは何と言われますか。」
8:6 彼らはイエスを告発する理由を得ようと、イエスを試みてこう言ったのであった。だが、イエスは身をかがめて、指で地面に何か書いておられた。
8:7 しかし、彼らが問い続けるので、イエスは身を起こして言われた。「あなたがたの中で罪のない者が、まずこの人に石を投げなさい。」
8:8 そしてイエスは、再び身をかがめて、地面に何かを書き続けられた。
8:9 彼らはそれを聞くと、年長者たちから始まり、一人、また一人と去って行き、真ん中にいた女とともに、イエスだけが残された。
8:10 イエスは身を起こして、彼女に言われた。「女の人よ、彼らはどこにいますか。だれもあなたにさばきを下さなかったのですか。」
8:11 彼女は言った。「はい、主よ。だれも。」イエスは言われた。「わたしもあなたにさばきを下さない。行きなさい。これからは、決して罪を犯してはなりません。」

〔旧約聖書／申命記〕

- 24:1 人が妻をめとり夫となった後で、もし、妻に何か恥すべきことを見つけたために気に入らなくなり、離縁状を書いてその女の手渡し、彼女を家から去らせ、

〔新約聖書／ヘブル人への手紙〕

- 13:4 結婚がすべての人の間で尊ばれ、寝床が汚されることのないようにしなさい。神は、淫行を行う者と姦淫を行う者をさばかれるからです。